

たかつきひがし
国道170号・高槻東道路
道路改良事業
〔高槻市〕

【再々評価】
(補足説明資料)

第5回審議会における ご指摘事項に対する対応

【ご指摘事項】

関連事業である主要地方道枚方高槻線の進捗等状況や費用便益についての説明を追加されたい。また、事業費の増額について、内訳を加えて説明されたい。

【対応(追加資料)】

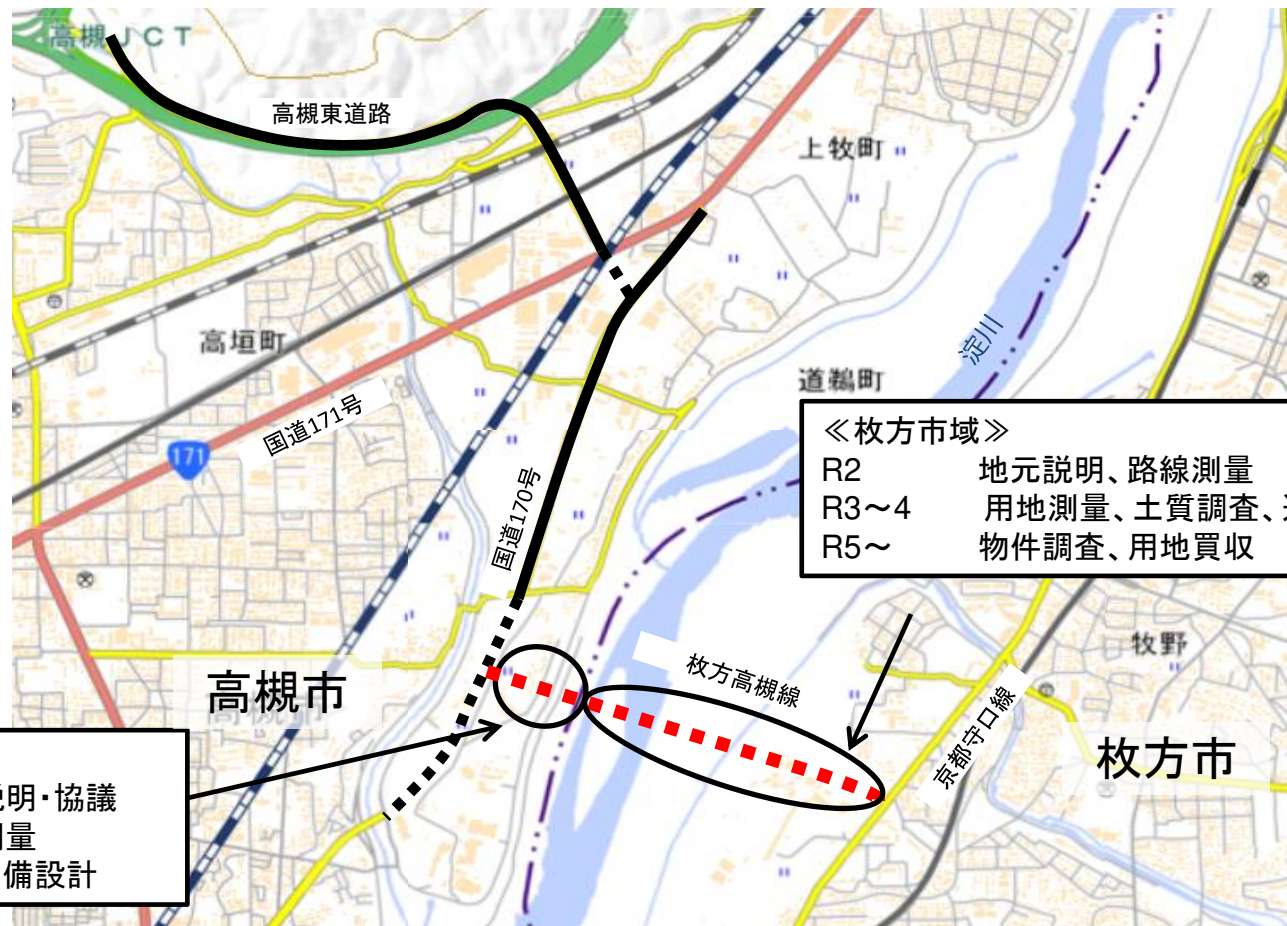
- ・主要地方道枚方高槻線の進捗状況について
- ・前回評価時(R1)の付帯意見に対する対応状況と今後の取組みについて
- ・交通量推計及び費用便益について
- ・事業費の増額理由について

主要地方道枚方高槻線の進捗状況について

【参考】

○進捗状況（事業費ベース）

用地：7%（2.1億円／30.0億円） 工事：0%（0億円／200.0億円）



- ✓ 枚方市域においては、R5年度より用地買収を実施中
- ✓ 高槻市域においては、R5年度より現地測量、R6年度より道路予備設計を実施中

■令和元年度の事業評価の結果

「主要地方道枚方高槻線道路改良事業」及び「国道170号・高槻東道路道路改良事業」への意見具申

○府民意見

「淀川渡河位置及びルート」「構造・まちづくり」「環境」の観点から事業実施に反対。

事業についての府の説明が不十分。

○付帯意見（抜粋）

特に、評価の視点の一つである「代替案立案の可能性の視点」で審議を積み重ね、淀川を渡河する位置について、現計画が、他の代替案に比べ相対的に優位であることを確認し、「事業実施」及び「事業継続」に異論はない。

ただし、事業を実施するにあたっては、地域住民に対して、事業内容、地域に及ぼす影響やその改善策などを分かりやすく説明し、地域住民とのコミュニケーションを十分に取りながら進めていくことを求める。

付帯意見への対応状況と今後の取り組みについて

【参考】

■その後の「主要地方道枚方高槻線道路改良工事」及び「国道170号・高槻東道路道路改良工事」の取組状況

令和2年度～3年度 : 道路計画に対する地元意見を踏まえ、道路構造の見直しや、道路整備と合わせたまちづくりについて、府が、高槻市と検討
(道路の計画高に合わせた高台まちづくりなど)

令和4年度～ : 高槻市と地元協議会が地域の課題等に関する勉強会を実施

令和5年度 : 勉強会での議論を経て、地元協議会と協議した結果、府が道路計画に関する地元説明会を開催することに合意

地元説明会(R5.12.24)において、道路構造のより具体的な議論を進めるために現地測量や道路設計を行うことに了承をいただいた

令和6年度 : 現地測量、道路予備設計実施中

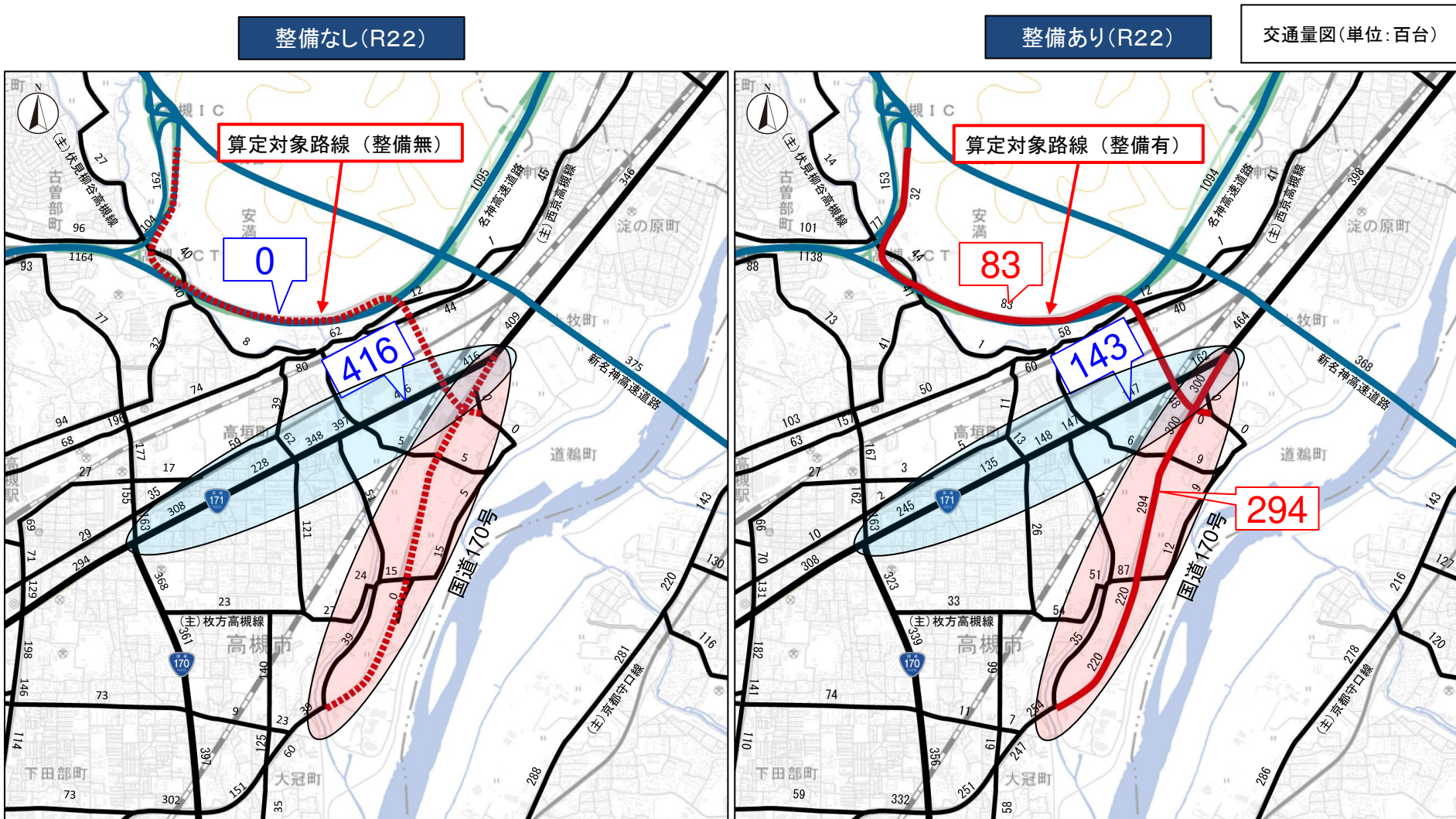
測量結果を基に地元説明会を開催し、より詳細な説明を行う予定



■今後の取組について

道路整備について、測量データを基に地元意見を踏まえた対策案を検討するなど、丁寧な対応に努めるとともに、今後高槻市が地域主体のまちづくり活動の熟度に応じて取り組む、道路整備とあわせた沿道のまちづくりとも連携を図りながら、着実に事業を進める。

交通量推計、費用便益（主要地方道 枚方高槻線の整備なし） 【参考】



◆費用便益比(4%の場合)

B/C =1.11

◆便益(B)

総便益	847.8億円
走行時間短縮便益	787.3億円
走行経費減少便益	47.1億円
交通事故減少便益	13.4億円

◆費用(C)

総費用	760.9億円
全体事業費 (現在価値)	752.5億円
維持管理費(50年間、現在価値)	8.4億円

【参考】

※国道170号、高槻東道路、枚方高槻線、京都守口線を一体として評価



枚方高槻線と合わせて整備することで、都市間の交流促進や防災機能の向上に繋がる

◆費用便益比(4%の場合)

$$B/C = 2.21$$

※枚方高槻線、京都守口線の
便益、費用も含む場合

◆便益(B)

総便益	2,271.0億円
走行時間短縮便益	2,132.0億円
走行経費減少便益	129.5億円
交通事故減少便益	9.5億円

◆費用(C)

総費用	1,026.7億円
全体事業費 (現在価値)	1,009.6億円
維持管理費(50年 間、現在価値)	17.1億円

項目	変更前(前回評価時)			変更後(今回)			増額理由
	合計	内訳		合計	内訳		
		高槻東道路	国道170号		高槻東道路	国道170号	
調査費	14.0億	8.7億	5.3億	16.9億	10.7億	6.2億	・高槻東道路の大型物件調査費増 ・国道170号の周辺道路復旧設計 等
用地費	112.0億	59.3億	52.7億	112.9億	59.1億	53.8億	・前回評価時とほぼ同額
補償費	69.0億	46.5億	22.5億	68.2億	39.4億	28.8億	《残物件》 土地:60件(地権者数) 物件:25件(小規模倉庫21件、家屋4件)
工事費	365.0億	236.9億	128.1億	394.5億	239.2億	155.3億	・物価高騰による増額(+17.7億) ・擁壁から橋梁へ道路構造の変更 (約140m)(+10.6億) ・インフラの移設等に必要な費用の増額 (+1.2億)
合計	560.0億	351.4億	208.6億	592.5億	348.4億	244.1億	